

鯨ヶ沢漁業用海岸局

事業目的

試験船，取締船ならびに一般漁船との間に漁業，指導監督通信を行うことにより，人命，財産の保全，航行の安全，海難の防止，操業秩序の維持による漁業生産の向上安定を図る。特に諸外国200海里水域における規制通信の確保とだ捕防止のための通信連絡を最重点とする。

事業内容

1. 実施期間 昭和59年4月1日～昭和60年3月31日
2. 交信海域 日本海全域，北部太平洋海域，青森県沿岸および沖合海域
3. 担当者 局長 長谷 繁 蔵
主任 工 藤 衛・大 友 守
技 師 中 川 賢 三
4. 取扱通信種別
 - (1) 漁業，指導監督通信
 - 日本海サケ・マス漁業位置報告通信
 - 日韓共同水域規制通信
 - 諸外国200海里漁業規制位置，漁獲報告通信
 - 漁海況情報収集並びに速報通信
 - 調査協力船との漁海況情報通信
 - 試験船および取締船との通信
 - 気象および航行警報等の周知通信
 - 要求通信
 - (2) 遭難，緊急，安全通信
 - (3) 漁業通信
5. 通信方式
 - (1) 無線電話（SSB方式）による送受信
 - (2) 気象，漁海況のファックス受信
 - (3) 遭難自動受信機による無休聴守
 - (4) セルコール送信機による通信

事業実施状況

1. 気象，航行警報等の随時放送により，海難事故の未然防止に努めた。
2. 日本海，太平洋における漁海況等の迅速なる収集および諸放送により漁業生産の向上に寄与した。
3. 外国漁業専管水域にともなう魚種別漁獲報告，日報，週報，旬報の取扱いおよび入出域通報の報告通信等の徹底により安全操業に寄与した。

表1 取扱通信実績

月	種別	指導監督	漁業	気象	事故	保安	相手局数	通信時間	備考
4		(件) 1,260	(件) 234	時分 22.30	(件) —	(件) —	(局) 754	時分 450.30	
5		1,627	741	23.15	—	3	1,155	470.10	
6		2,329	1,201	22.30	—	2	1,776	450.30	
7		3,286	1,581	23.15	—	2	2,217	470.10	
8		2,531	1,327	23.15	—	8	1,734	470.10	
9		2,351	992	22.30	—	—	1,505	450.30	
10		1,858	961	23.15	—	2	1,363	470.10	
11		1,581	748	22.30	—	—	1,064	450.30	
12		1,330	571	23.15	—	1	920	470.10	
1		144	419	23.15	—	4	185	470.10	
2		324	438	21.00	—	1	198	424.40	
3		338	551	23.15	—	5	209	470.10	
計 (A)		18,959	9,764	273.45	—	28	13,080	5,517.50	
前年度計(B)		26,527	11,704	273.45	1	36	19,413	5,535.50	
(A)/(B)		71.5%	83.4%	100.0%	—	77.8%	67.4%	99.7%	

表2 空中線電力別隻数

種別	出力	10 W	50 W 以下	電信, 電話併設	計	備考
官庁船		3	1	3	7	
民間船		79	52		131	
計 (A)		82	53	3	138	
前年度計 (B)		83	55	3	141	
(A) / (B)		98.8%	96.4%	100.0%	97.9%	

表3 地域別, トン数別, 隻数

地域 トン数	官庁	沢岩	辺崎	深浦	鰺ヶ沢	市浦	下前	小泊	三竜	既飛	青今	森別	計	備考
10 トン以下	1	—	1	1	—	24	18	2	—	47				
11 ~ 20	—	2	9	6	2	13	13	7	2	54				
21 ~ 50	3	—	3	7	—	5	4	1	—	23				
51 ~ 100	1	1	1	1	—	2	2	—	4	12				
100 トン以上	2	—	—	—	—	—	—	—	—	2				
計 (A)		7	3	14	15	2	44	37	10	6	138			
前年度計 (B)		7	3	15	16	2	44	38	11	5	141			
(A) / (B)		% 100.0	% 100.0	% 93.3	% 93.8	% 100.0	% 100.0	% 97.4	% 90.9	% 120.0	% 97.9			